



おきぎん 経済研究所

NEWS RELEASE

“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

2015年9月28日

各位

株式会社 おきぎん 経済研究所

「第61回おきぎん企業動向調査」
(2015年7-9月期) 調査結果

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

・担当：高良

問い合わせ先：(電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200)

現場主義とお客さまからの信頼

第 61 回おきぎん企業動向調査(2015 年 7-9 月期)調査結果

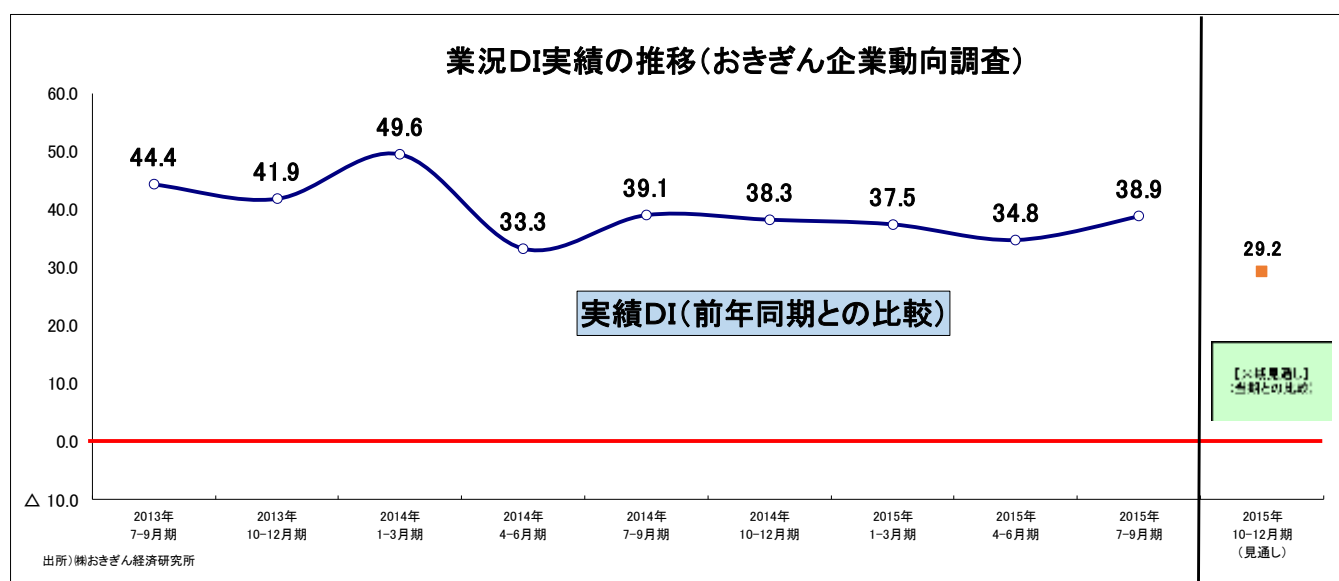
～県内(地域・業種別)の経営環境と業況感(2015 年 10-12 月期見通し)～

I. はじめに

1. 調査の結果

【業況DIの推移】	2014年		2015年			
	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期 (見通し)
項目	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前年同期比DI	前期比DI
全業種計	39.1	38.3	37.5	34.8	38.9	29.2
製造業	26.7	28.6	34.7	28.0	41.7	33.3
土木業	60.0	55.6	42.9	42.9	34.8	52.2
建築業	35.1	47.1	43.1	36.3	43.7	40.9
卸売業	25.0	38.2	27.9	25.4	26.0	13.0
小売業	30.3	22.2	22.5	30.1	38.0	25.3
情報通信サービス業	40.0	25.0	44.4	66.7	53.8	30.8
医療・福祉	48.4	20.0	26.7	8.7	20.0	36.0
その他サービス業(宿泊・飲食等)	58.5	50.0	56.3	46.3	60.8	21.2
その他(不動産、運輸等)	48.3	44.7	45.3	41.2	36.1	29.6

- 2015 年 7-9 月期の業況DIは 38.9 (前年同期比) となり、**全業種で業況改善の動き**がみられ、2011 年 7-9 月期より 17 期連続のプラスとなりました (2 桁プラスは 2012 年 1-3 月期より 15 期連続)。
- 2015 年 10-12 月期の業況見通しDIは 29.2 (2015 年 7-9 月期比) となり、引き続き**全業種で業況改善の動き**が見込まれます。



2. 調査の概要: 本調査では各企業の業況や売上高、売上・仕入単価、採算等の経営状況項目について、主に経営者の判断(当期実績、来期見通し)をDI(景気動向指数)として取りまとめました。

- a. 調査時期: 2015年8月中旬～9月上旬
 b. 調査対象: 県内企業 486社 回答
 c. 調査内容: ①業況 ②売上高 ③売上単価 ④仕入単価 ⑤採算 ⑥引き合い(問合せ等) ⑦雇用
 ⑧設備・その他投資需要(第51回調査までの「IT関連投資」と「その他の投資」を統合)

—おきぎんDIについて—

主に企業経営者の業況などに関する実績判断や見通しを「好転・上昇・増加」、「不変(変わらない)」、「悪化・低下・減少」のいずれかでお答えいただき、各割合を表したものです(本レポートでは「悪化・低下・減少」はマイナス表示を使用)。

①「好転・上昇・増加」+「不変(変わらない)」+「悪化・低下・減少」=100%

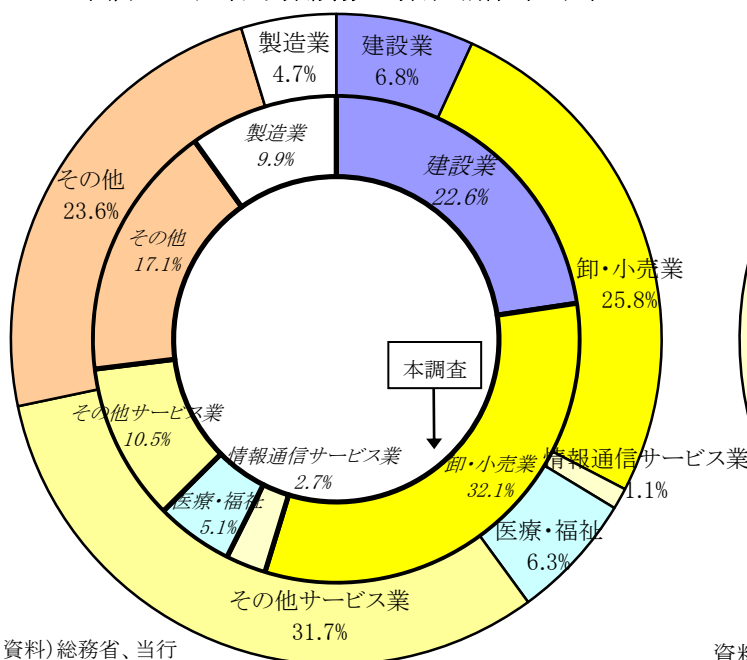
②DI(景気動向指数) = 「好転・上昇・増加」の割合(%) - 「悪化・低下・減少」の割合(%)

従って、DIがプラスなら景気が良い(または上昇見込み)、マイナスなら悪い(または下降見込み)とご覧いただけます。

3. 調査対象企業の業種・所在地構成

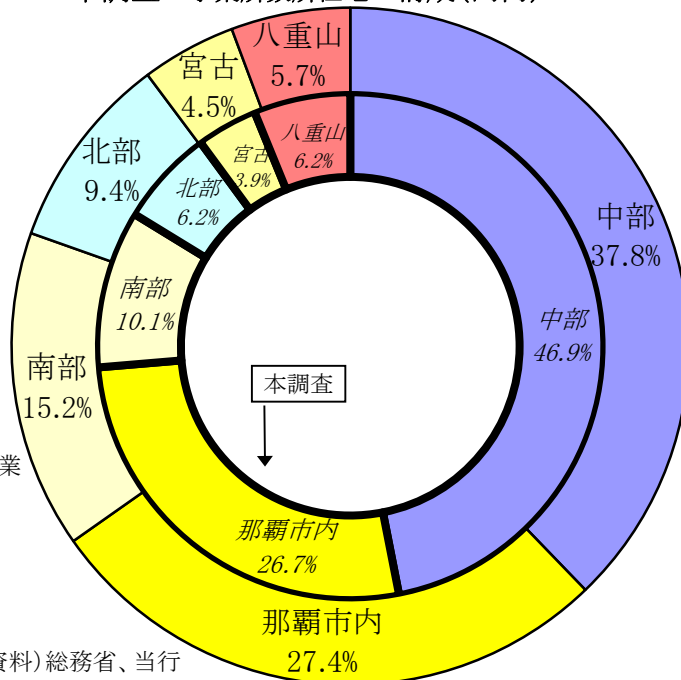
- 本調査の業種構成を県内事業所データ(2012年経済センサス基礎調査)と比べると、【建設業(本調査では土木・建築業)】、【卸・小売業】、【製造業】、【情報通信サービス業】はサンプリング数が多く、【その他サービス業(宿泊・飲食等)】、【その他(不動産・運輸等)】、【医療・福祉】はサンプリング数が少なくなっています。
- 所在地構成については、中部・那覇市内で7割を超えるシェアとなっています。

県内の産業別事業所数の構成(外円)、
本調査の回答事業所数の業種構成(内円)



資料)総務省、当行

県内の事業所数所在地の構成(外円)、
本調査の事業所数所在地の構成(内円)



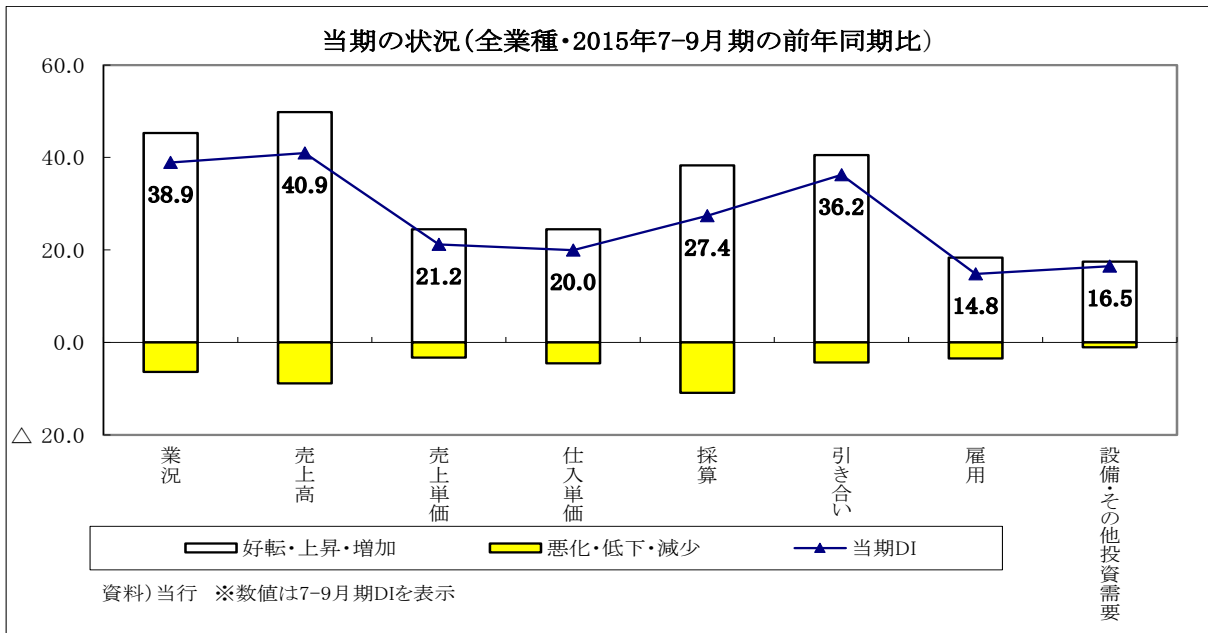
資料)総務省、当行

II. 調査結果(1) ～おきぎん DI: 県内の経営環境と業況感について～

1. 全業種

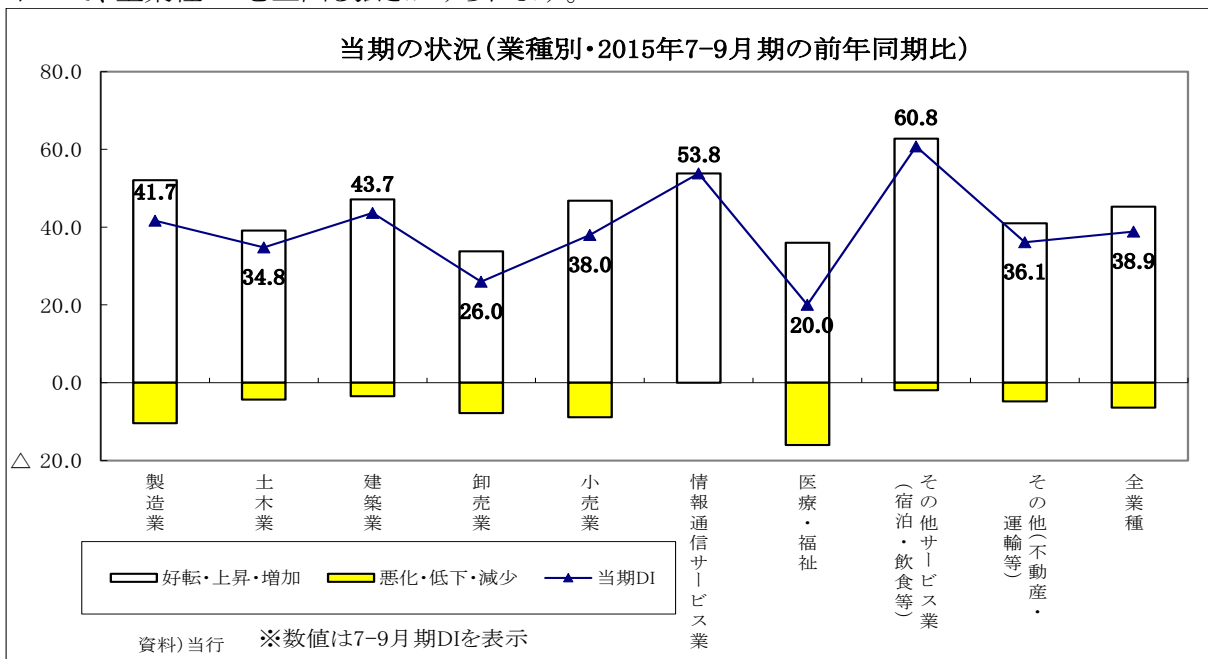
a. ①当期の状況(項目別・2015年7-9月期の前年同期比)

当期の業況は **38.9** となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加や観光のトップシーズン到来などから、売上高(40.9)や引き合い(36.2)をはじめ、多くの項目で改善の動きがみられます。一方で、一部では円安や資材価格高騰などから仕入単価(20.0)の上昇が懸念されています。



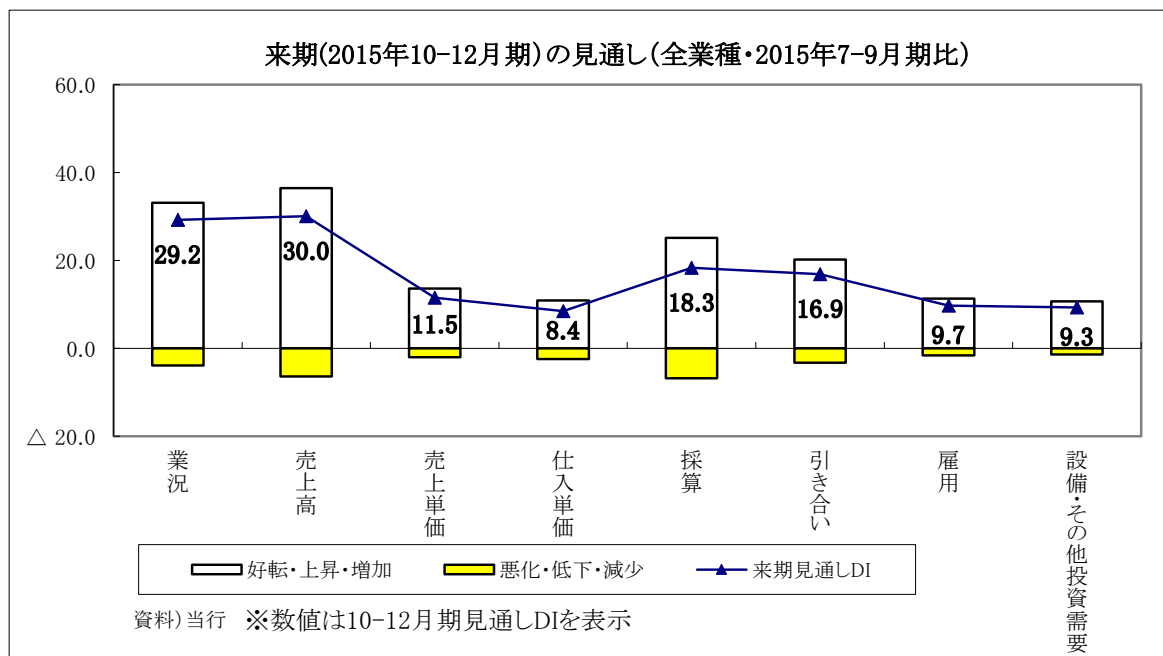
a. ②当期の状況(業種別・2015年7-9月期の前年同期比)

業種別では、全ての業種において業況改善の動きとなりました。観光のトップシーズン到来による需要増加がみられる【その他サービス業(60.8)】をはじめ、【情報通信サービス業(53.8)】、【建築業(43.7)】、【製造業(41.7)】などにおいて、全業種DIを上回る強さがみられます。



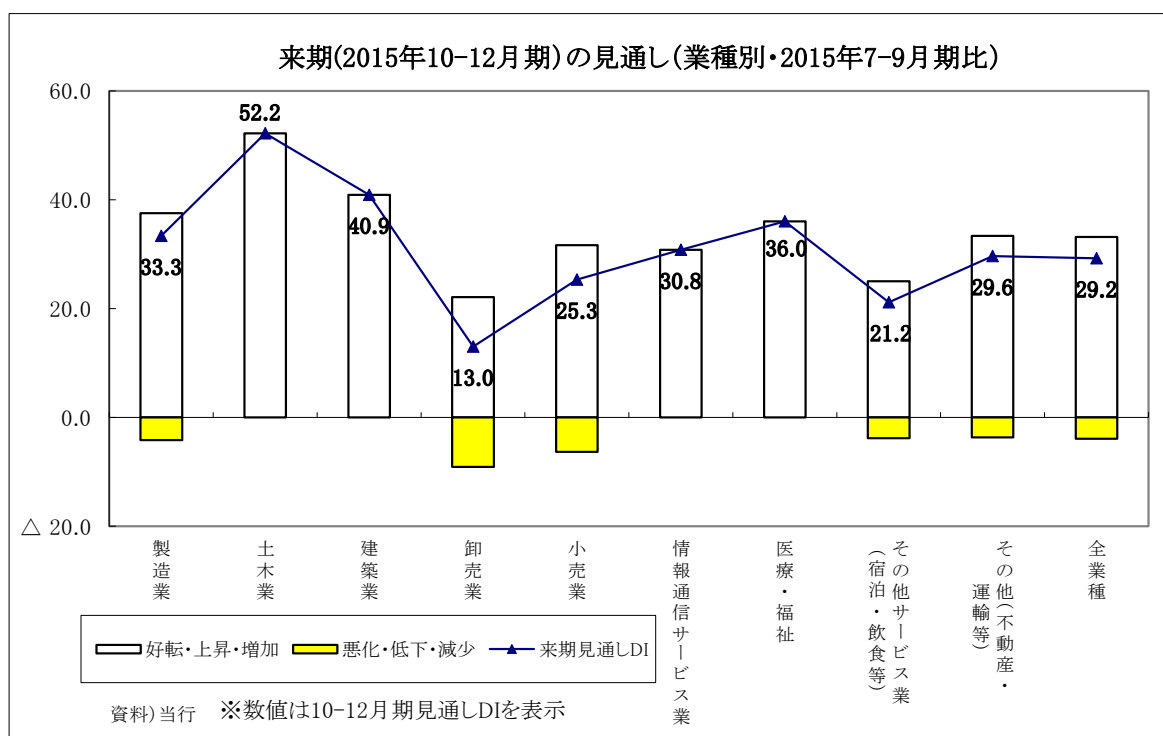
b.①来期の見通し(項目別・2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

来期見通し業況DIは29.2となり、引き続き、業況改善の動きが見込まれます。継続的な公共・民間工事の受注増加などから、売上高(30.0)・採算(18.3)・引き合い(16.9)をはじめ、多くの項目で改善の動きが見込まれます。



b.②来期の見通し(業種別・2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

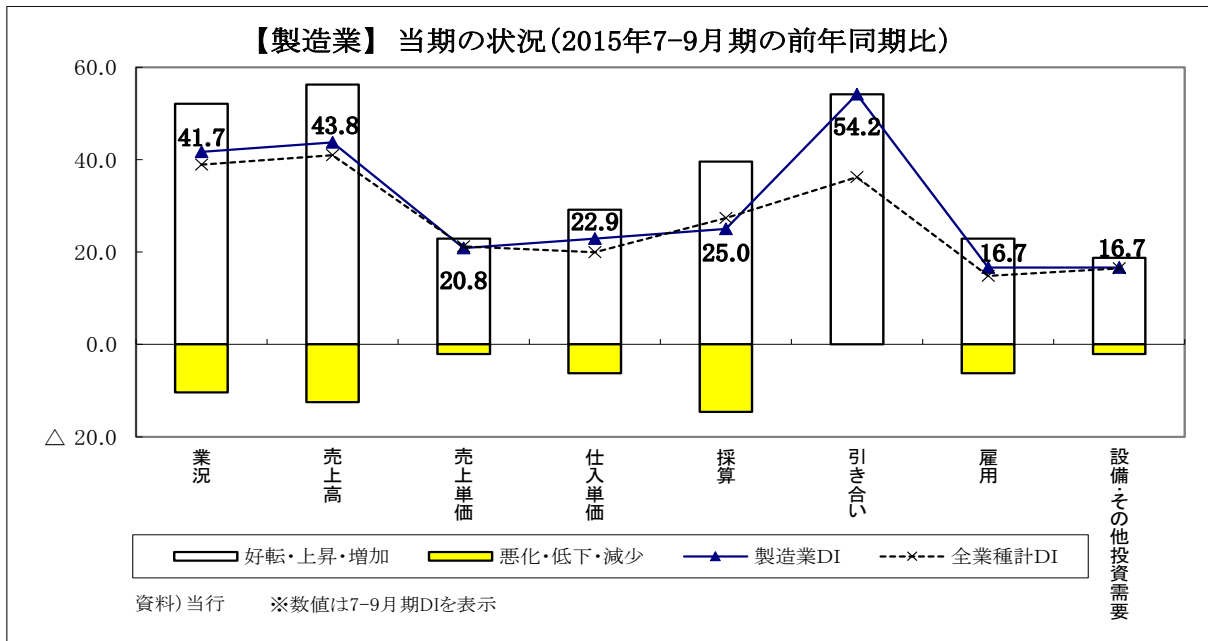
業種別では、全業種において業況改善の動きが見込まれます。【土木業(52.2)】、【建築業(40.9)】、【医療・福祉(36.0)】などにおいて、全業種DIを上回る強さが見込まれます。



2. 製造業

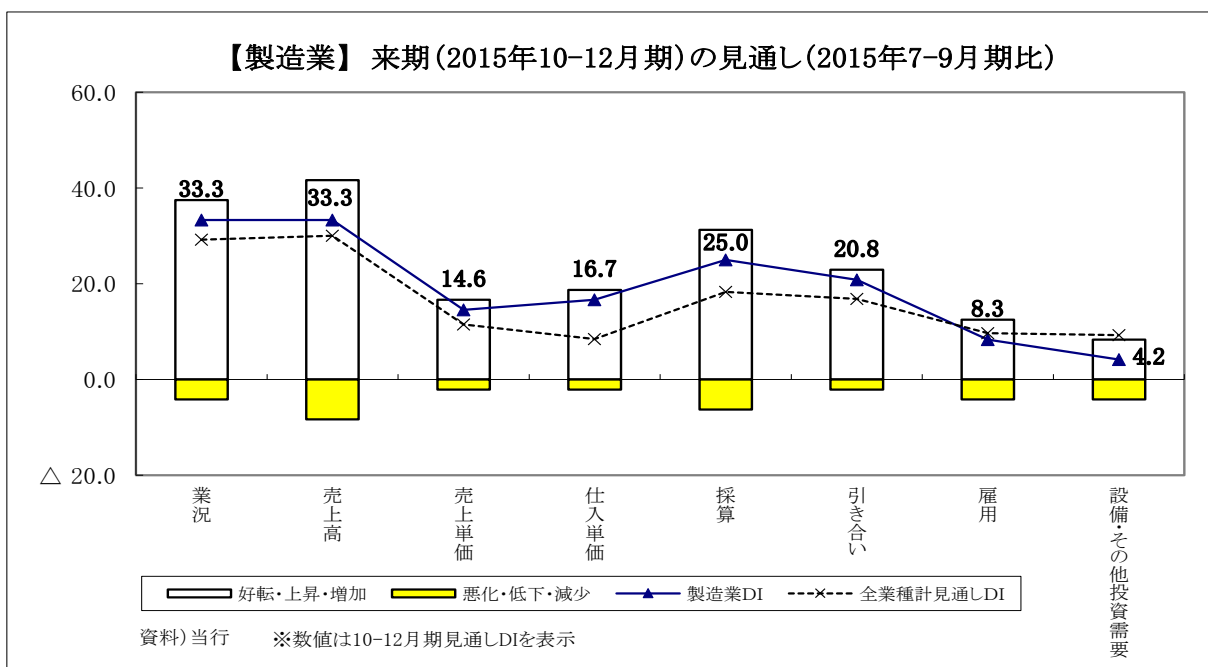
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況 DI は 41.7 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。生コン製造業(二次製品含む)では、ホテル建築や公共工事の増加などにより、売上高・引き合いの増加がみられます。食品・菓子製造業では、観光のトップシーズン到来による需要の高まりや販路拡大などにより、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。一方、一部の泡盛製造業では、需要の減少などから売上高・採算の悪化がみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

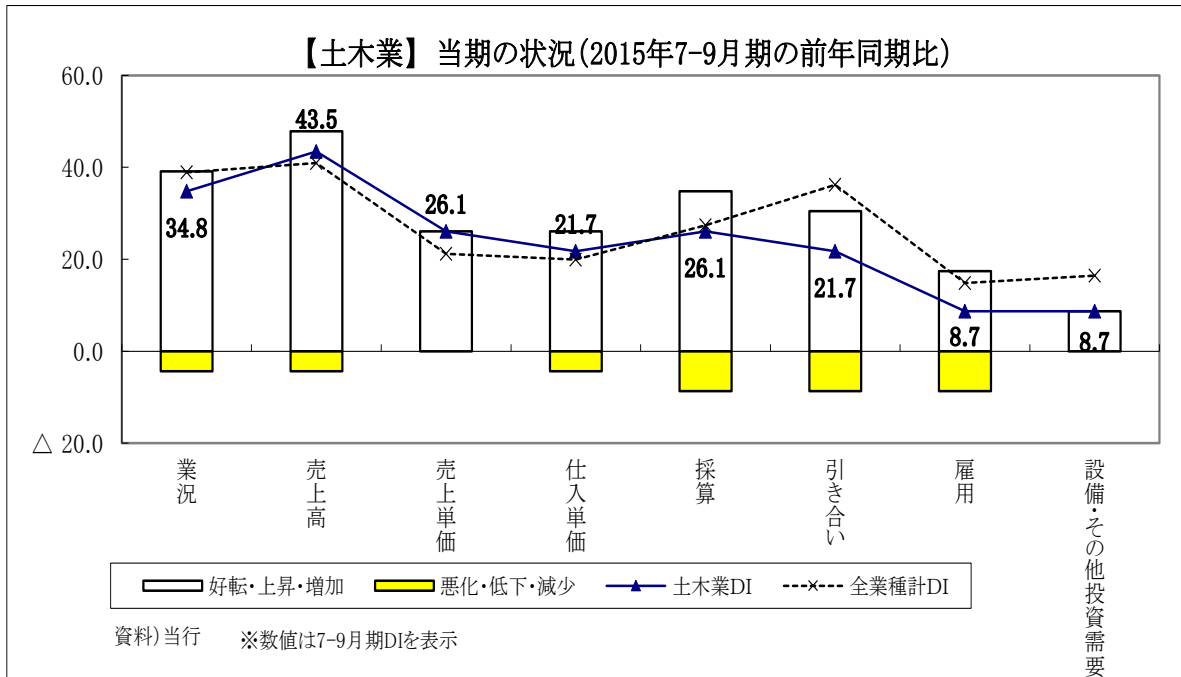
見通し業況 DI は 33.3 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。生コン製造業(二次製品含む)では、引き続き公共工事の増加が見込まれるほか、泡盛製造業では、忘年会需要などにより、売上高の増加が見込まれます。一方、一部では為替の影響による仕入単価の上昇を懸念する事業者もみられます。



3. 土木業

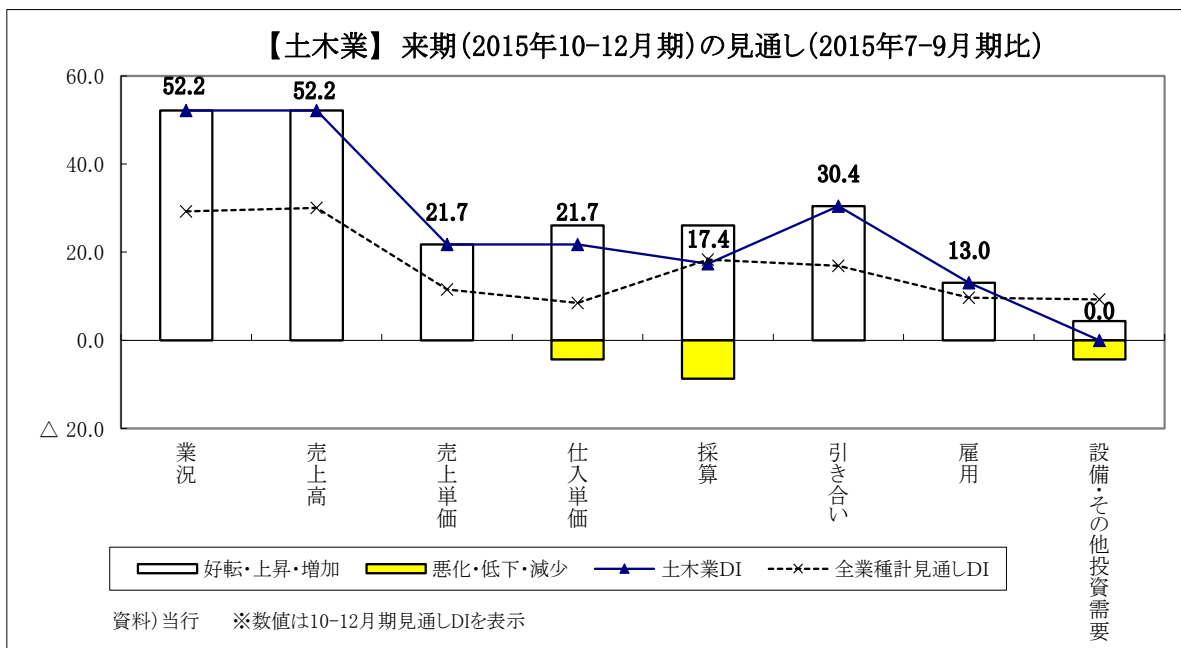
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 34.8 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共工事の受注増加などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方、一部では人手不足による雇用への影響を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

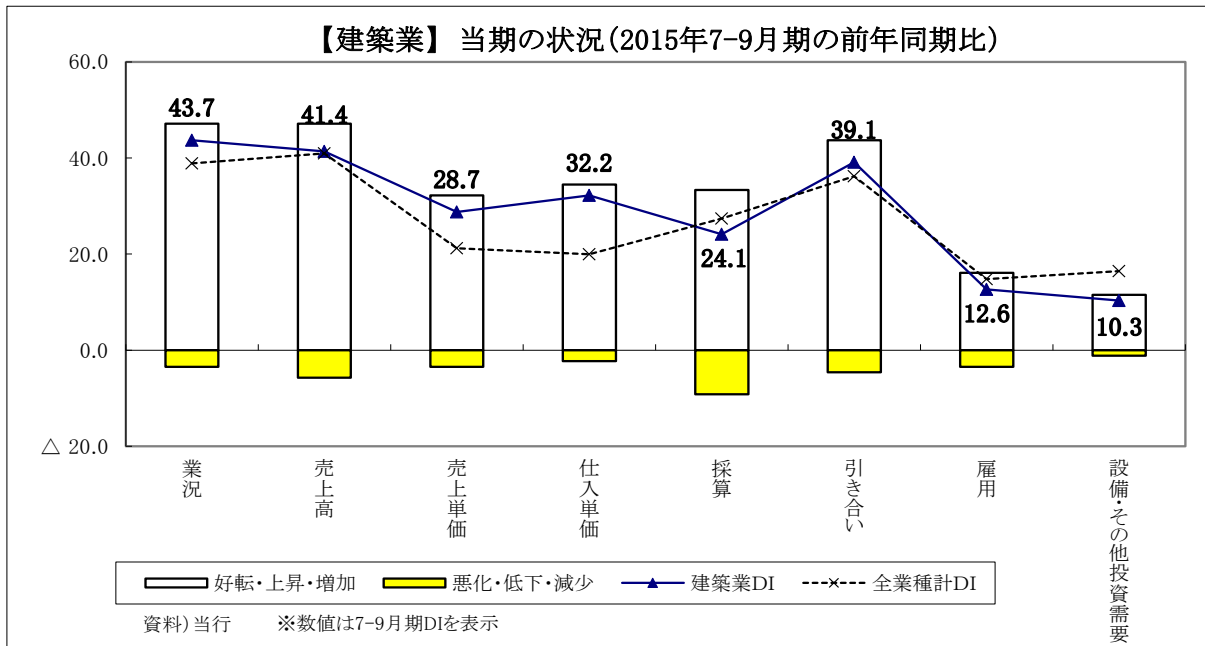
見通し業況DIは 52.2 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共工事の受注増加が見込まれ、売上高・引き合いの増加が期待されます。一方、一部では恒常的な人手不足を懸念する事業者もみられます。



4. 建築業

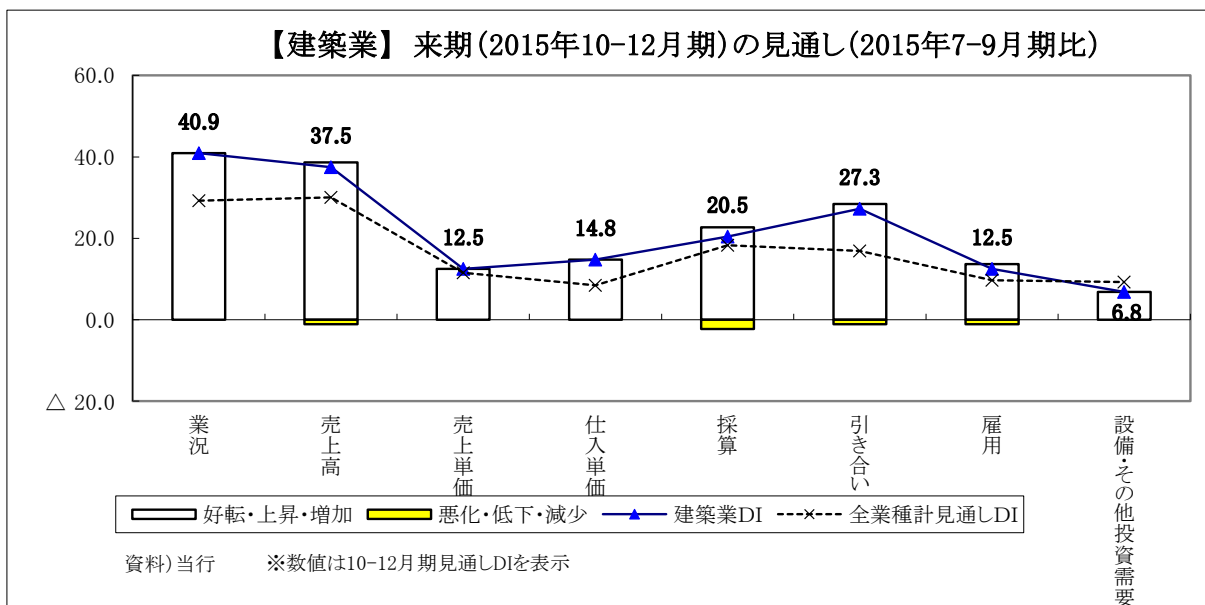
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況 DI は 43.7 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。公共・民間工事の受注増加などから売上高・引き合いが増加しています。消費増税や資材価格高騰などによる仕入単価の上昇については、売上単価への転嫁などにより、採算が改善しています。一方、一部の事業者では人員が増えたものの、人手不足(型枠、工事部門)が続き、人件費が高騰していることなどから、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

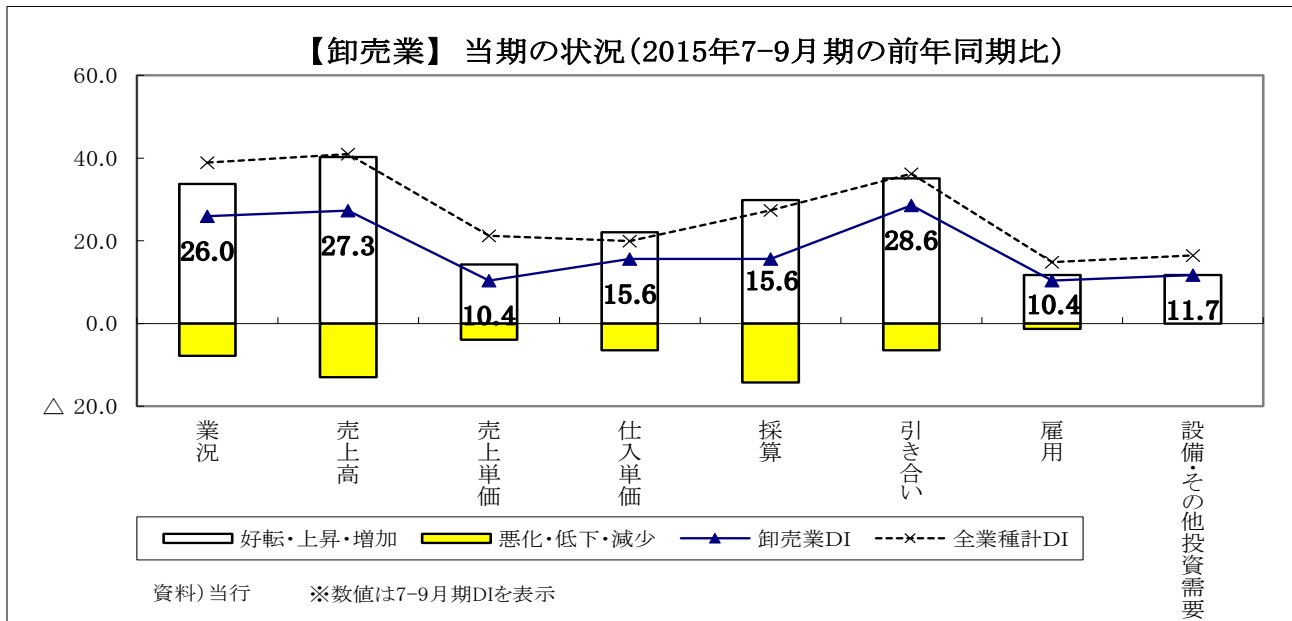
見通し業況 DI は 40.9 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、公共(市町村施設関連・基地内工事)・民間工事(マンション・アパート等)の受注増加が見込まれ、売上高や引き合いの増加が期待されます。一方で、一部では恒常的な人手不足に対して、工程管理を厳格に行い、経費削減に取り組む事業者もみられます。



5. 卸売業

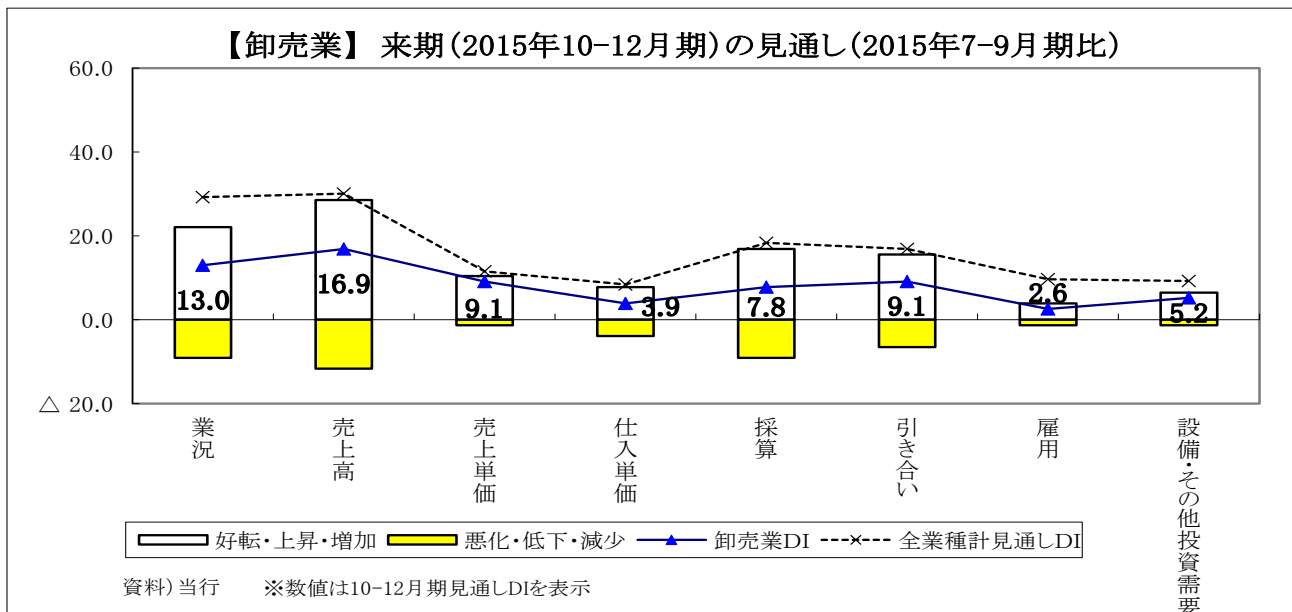
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況DIは26.0となり、全体としては業況改善の動きがみられます。国内外観光客の増加や大型商業施設への販路拡大などにより、関連業者(食品、土産品、家電、水産、タバコ、生活雑貨など)では売上高・引き合いが増加しています。また、石油・ガス卸売業では、原油価格下落により、仕入単価が減少しています。一方で、一部では円安の影響による仕入単価の上昇などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

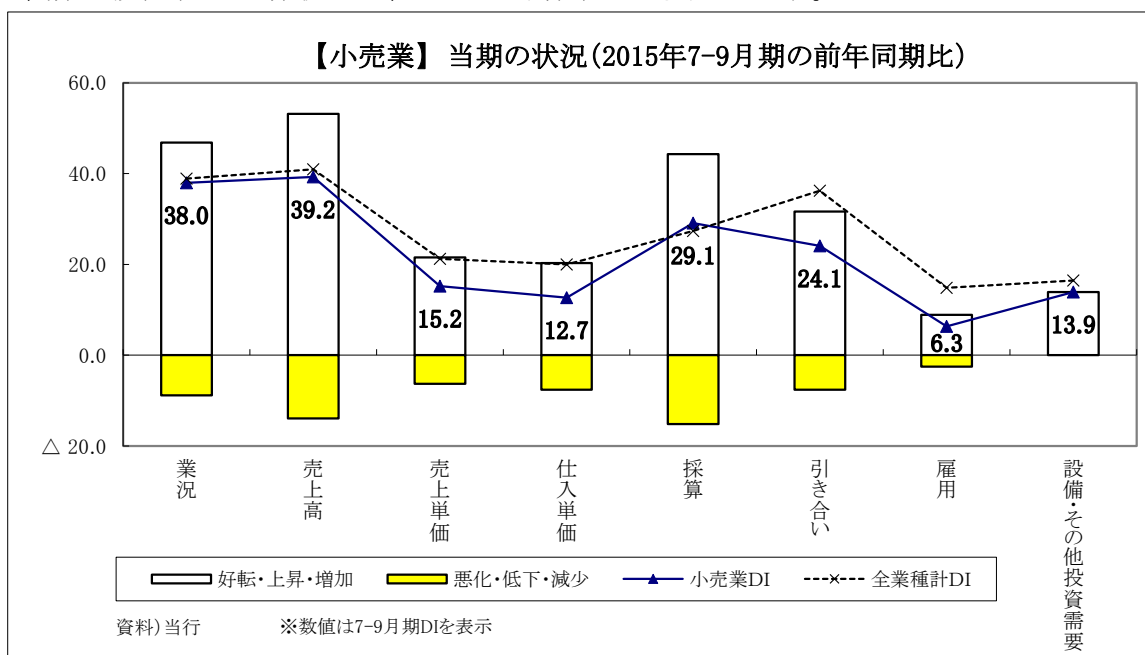
見通し業況DIは13.0となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。建築資材卸売業では、引き続き、公共・民間工事の受注増加などから、売上高・引き合いの増加が見込まれます。一部の看板材料販売業では、冬場のイルミネーション増加による売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。一方で、一部の観光土産品卸売業などでは、観光のトップシーズン終了による需要の落ち込みや為替の影響による仕入単価の上昇を懸念する声もあります。



6. 小売業

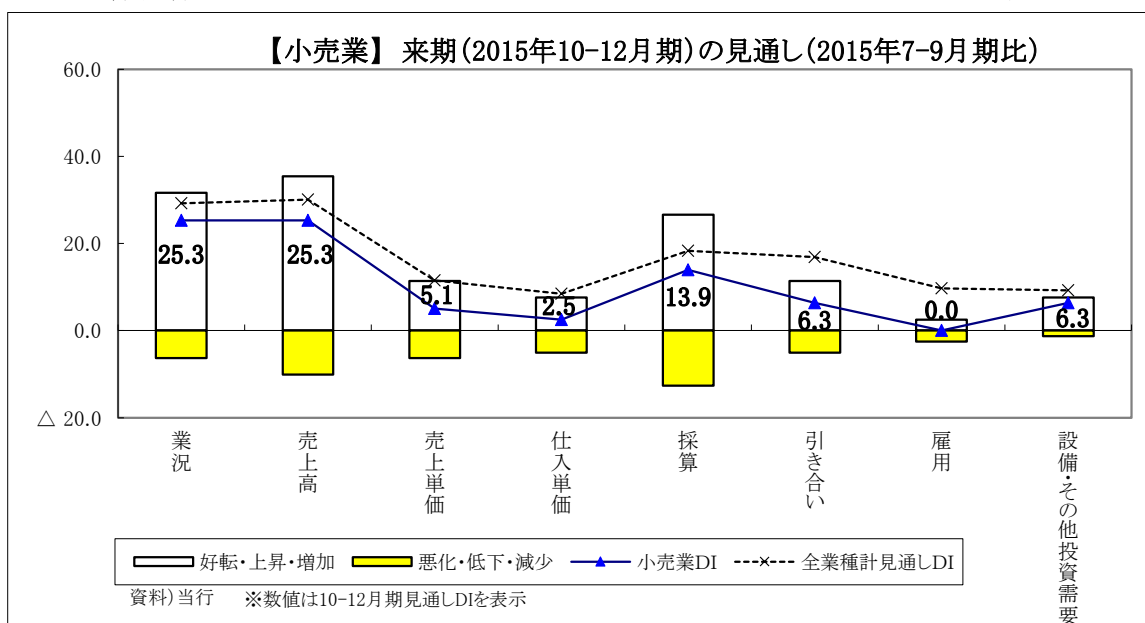
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況DIは 38.0 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。観光土産品販売業、ガソリン・ガス販売業では、夏場の国内外観光客の増加、レンタカー利用の増加、原油価格下落の影響などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方、一部では円安による仕入単価の上昇から採算の悪化を懸念する事業者や近隣の大型商業施設開店により業況が悪化している事業者などもみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

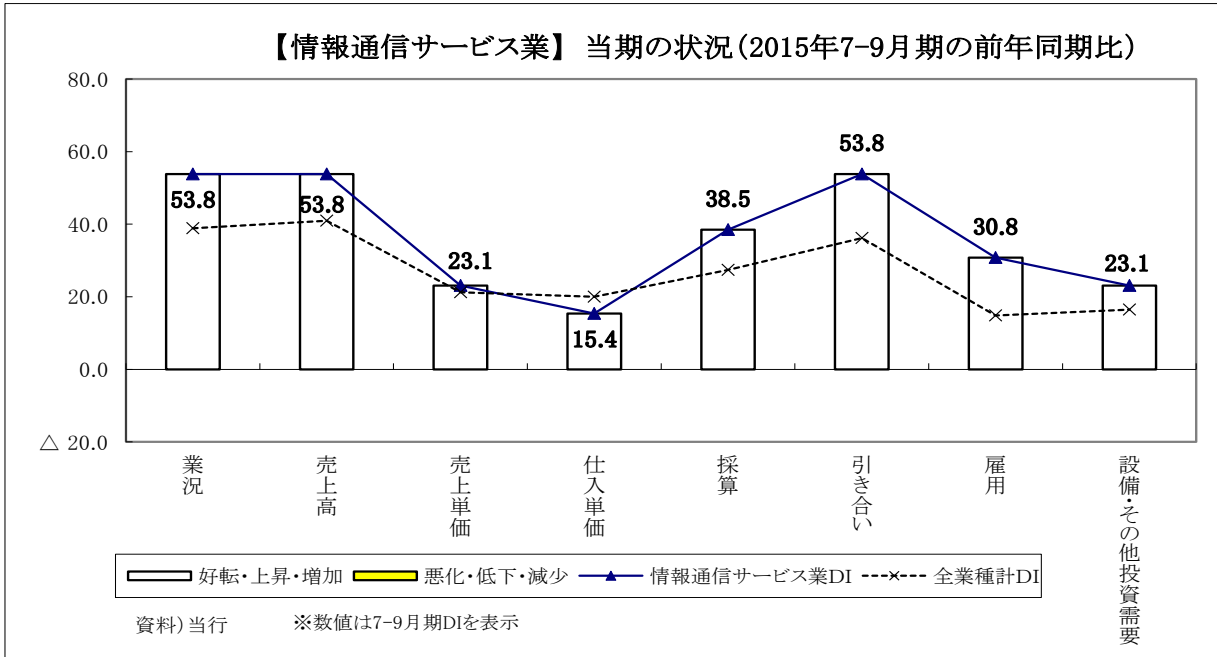
見通し業況DIは 25.3 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。一部のガソリン販売業、雑貨販売業では観光のトップシーズン終了による需要の落ち込みから、売上高・採算の低下が予想されるものの、観光土産品販売業、衣料品販売業などでは、観光需要の堅調な推移を見込んでおり、売上高の増加が期待されるほか、一部の自動車販売業では新規出店や事業の拡充などにより、売上高・設備投資需要の増加が見込まれます。



7. 情報通信サービス業

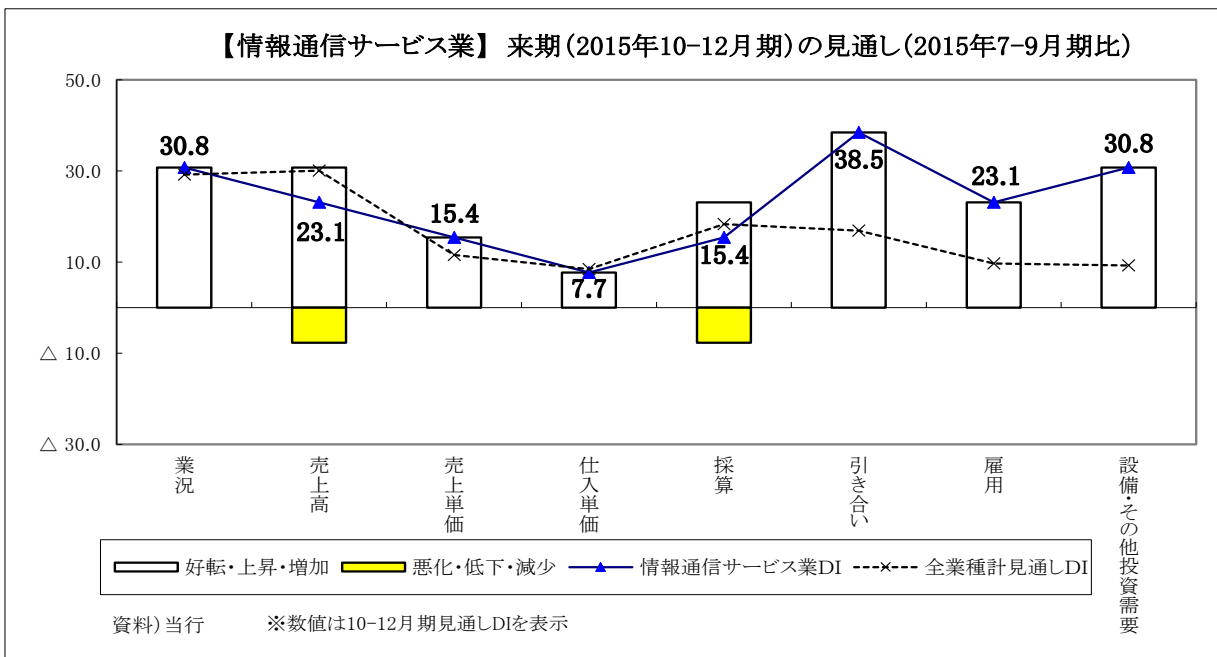
a. 当期の状況(2015年7-9期の前年同期比)

業況DIは53.8となり、全体としては業況改善の動きがみられます。システム、ソフトウェア開発業では、マイナンバー制度へのシステム対応や県外企業からの受注増加などから、売上高・採算・引き合い・雇用が増加しています。また、求人広告業では、求人需要の増加などから、売上高・引き合いの増加がみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

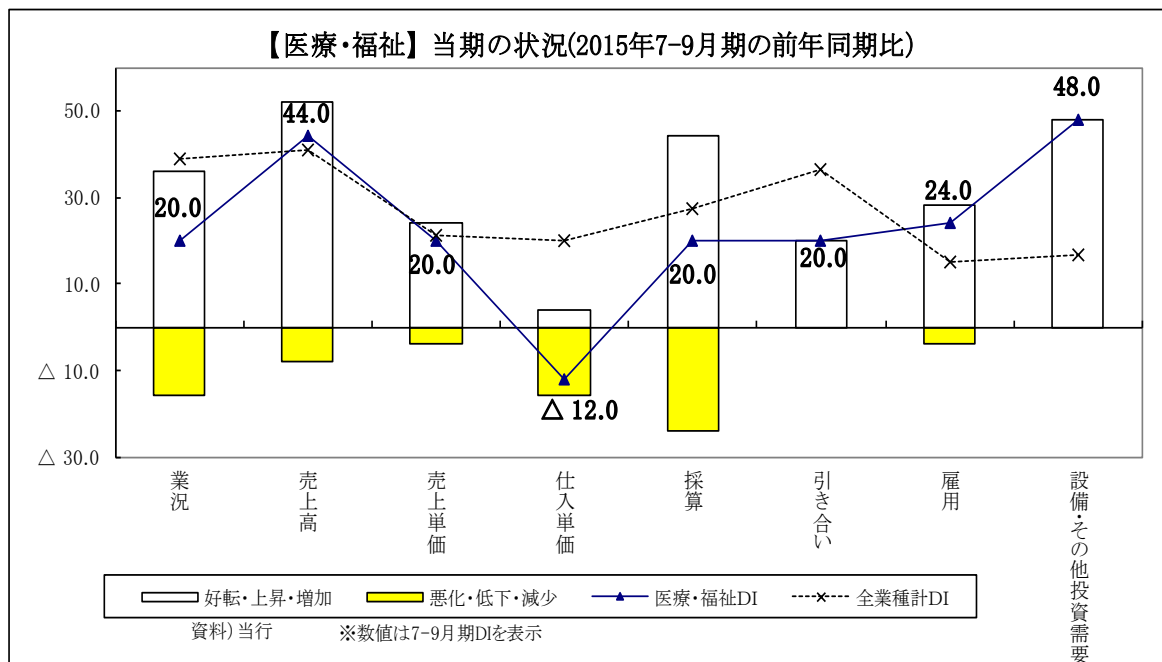
見通し業況DIは30.8となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、システム、ソフトウェア開発業ではマイナンバー制度へのシステム対応、求人広告業では求人需要が見込まれ、売上高・引き合い・雇用の増加が期待されます。



8. 医療・福祉

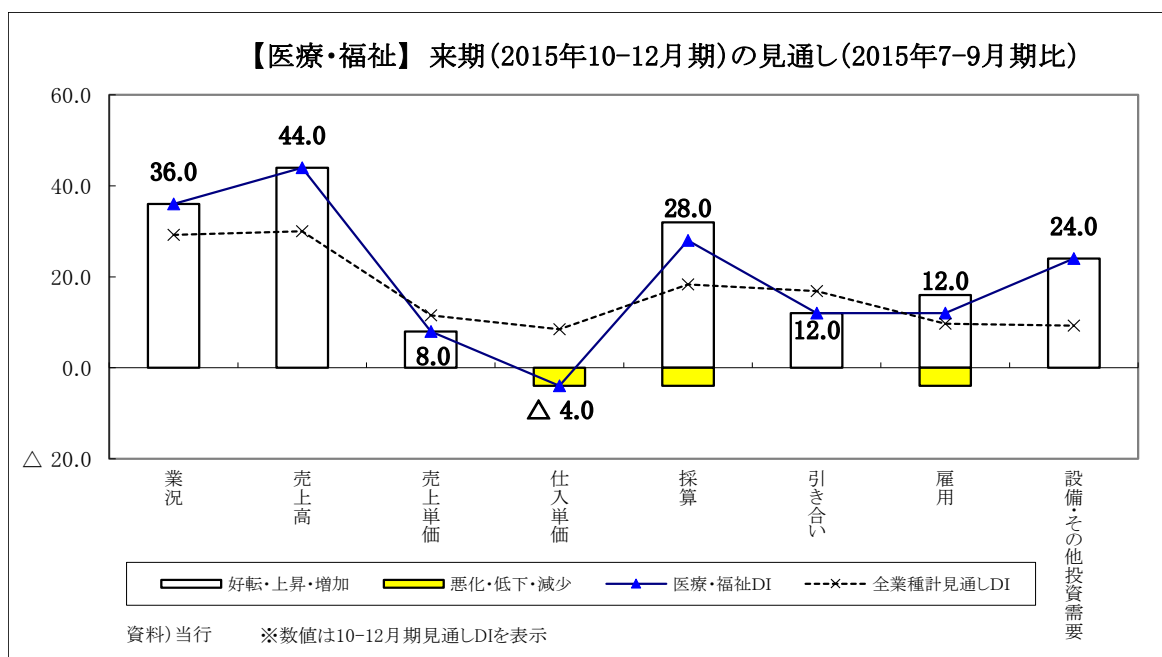
a. 当期の状況(2015年7-9期の前年同期比)

業況DIは 20.0 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。新規施設の稼働、雇用の増加、病院移転などにより外来利用者が増加したことなどから、経営環境が堅調に推移し、売上高・採算が増加している事業者がみられます。一部では、ジェネリック医薬品の推進などから、仕入単価が減少している事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

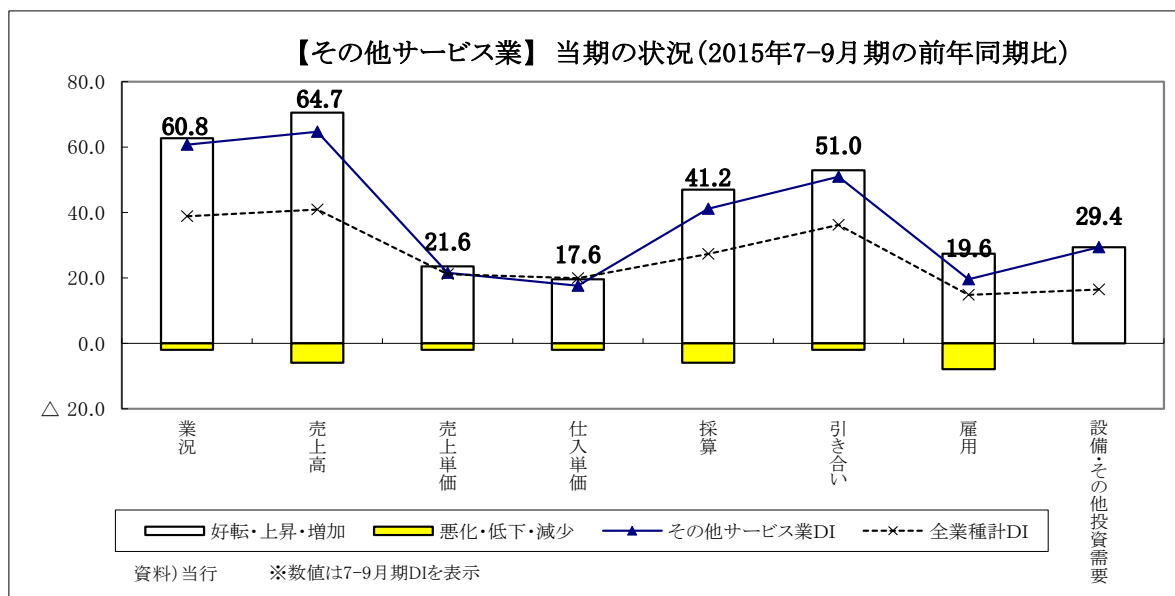
見通し業況DIは 36.0 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。一部の医療・介護施設では、経営努力により仕入単価の減少を見込む事業者が見込まれます。また、介護施設の新規開業などによる外来利用者の増加が見込まれ、売上高・採算の増加が期待されます。



9. その他サービス業(宿泊、飲食、ゴルフ場、遊戯場、結婚式場、教育関連等)

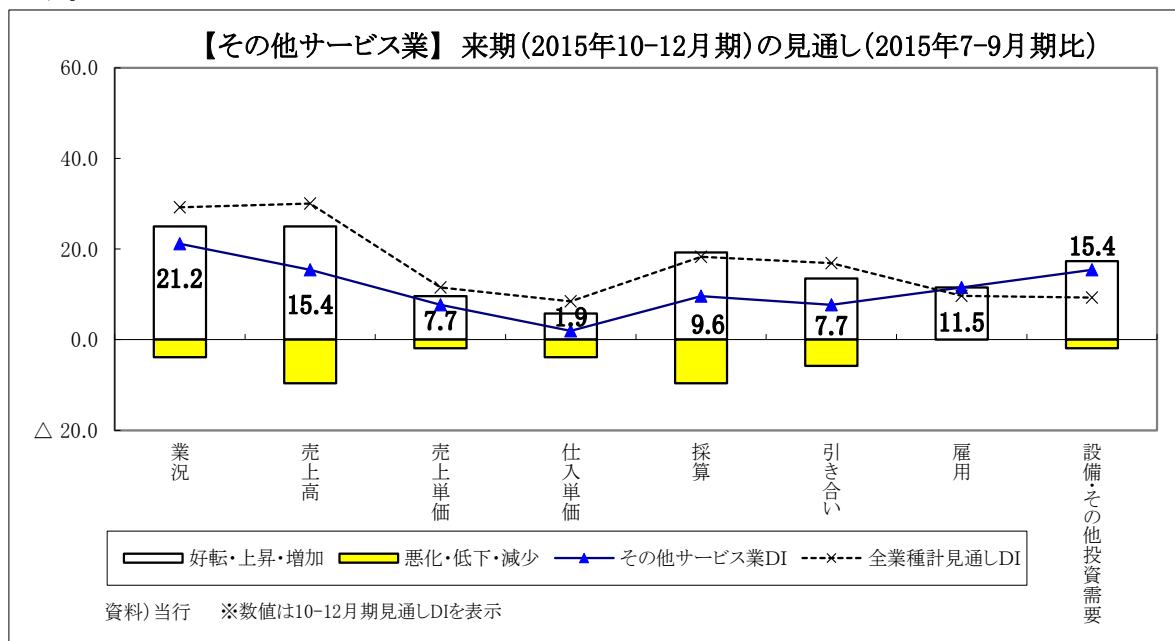
a. 当期の状況(2015年7-9期の前年同期比)

業況DIは 60.8 となり、全体としては業況改善の動きがみられます。宿泊業、マリンサービス業、飲食業(ラーメン屋、居酒屋、焼肉店など)では、観光のトップシーズン到来や訪日外国人観光客の増加により、売上高・採算・引き合いが増加しています。一方で、一部では人手不足による人件費の増加などから採算の悪化を懸念する事業者もみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

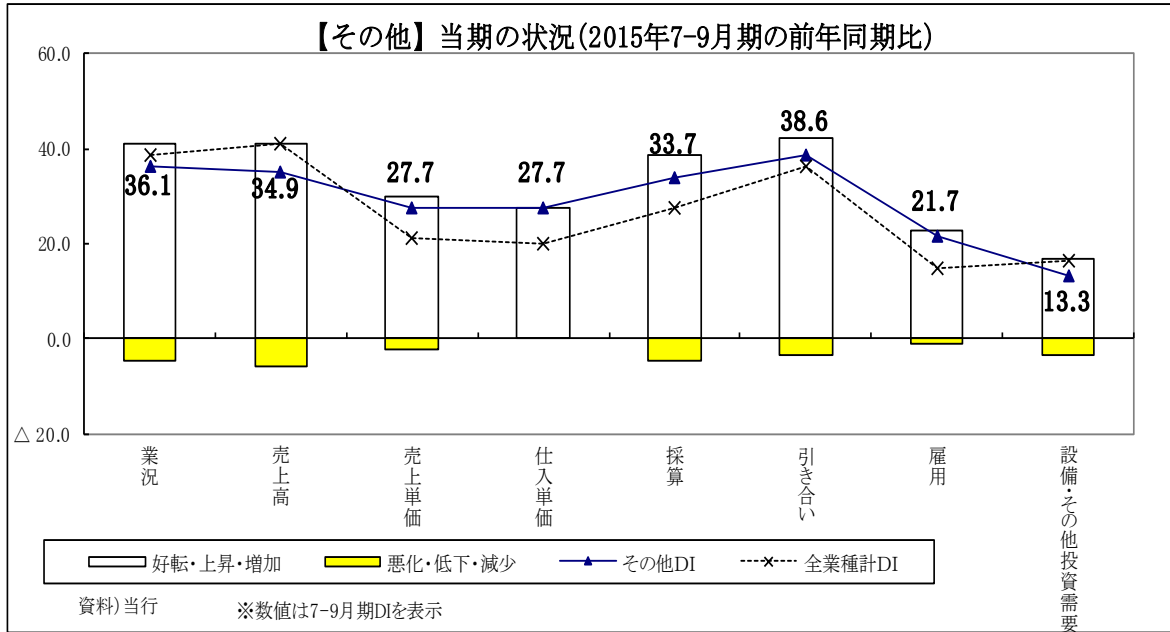
見通し業況DIは 21.2 となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、宿泊業、飲食業などでは、観光需要の堅調な推移や新規出店計画が見込まれていることなどから、売上高・採算・設備投資の増加が期待されます。



10. その他(不動産、運輸、測量・設計コンサル等)

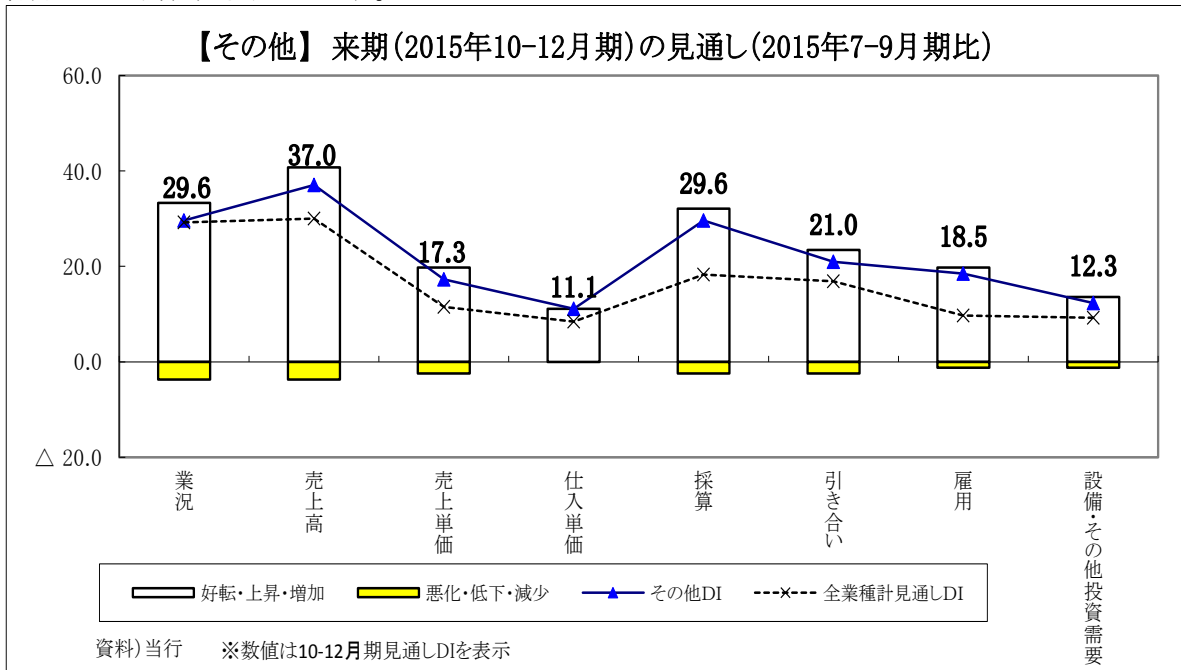
a. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

業況DIは36.1となり、全体としては業況改善の動きがみられます。測量・設計・砂利採取業では公共工事の受注増加、運輸業では販路拡大などから、売上高・採算・引き合いの増加がみられます。また、一部の不動産業(販売・管理)では、大型商業施設の周辺地区などに対して、県外・海外から引き合いの増加がみられます。



b. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

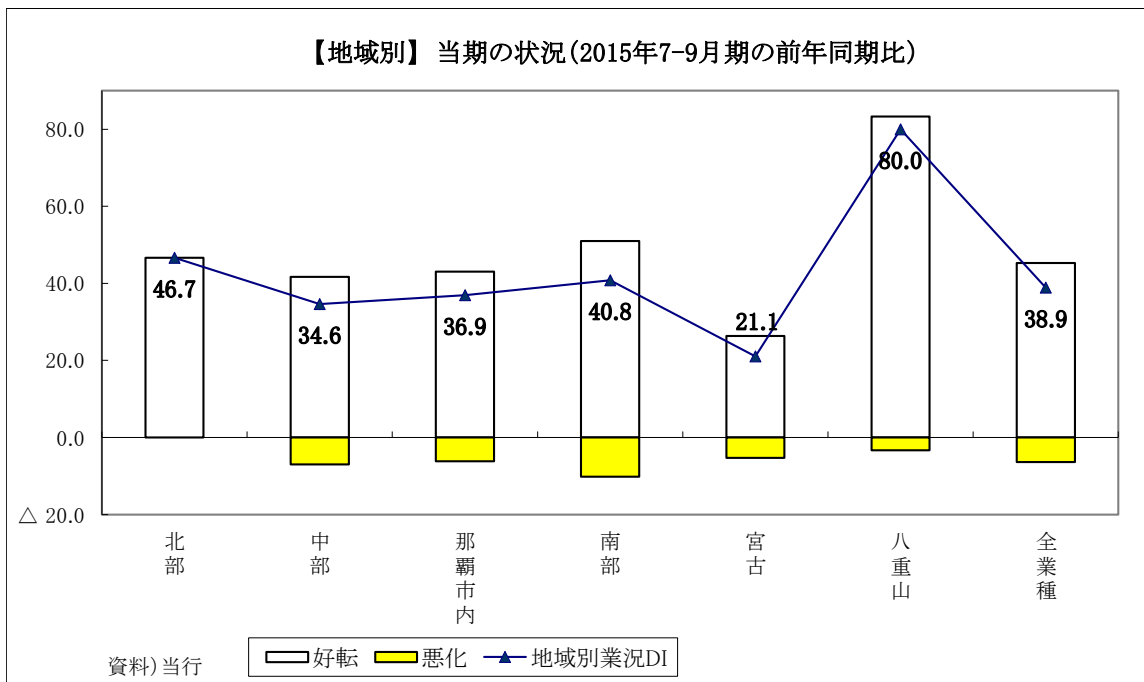
見通し業況DIは29.6となり、全体としては業況改善の動きが見込まれます。引き続き、測量・設計・リース業などでは、公共工事の受注増加により、売上高・採算・引き合いの増加が見込まれます。また、一部の不動産業(販売・管理)では、販売物件の確保や大型商業施設周辺の宅地分譲が見込まれることなどから、売上高・採算の増加が期待される事業者もみられます。



Ⅲ. 調査結果(2) ～地域別の業況DI～

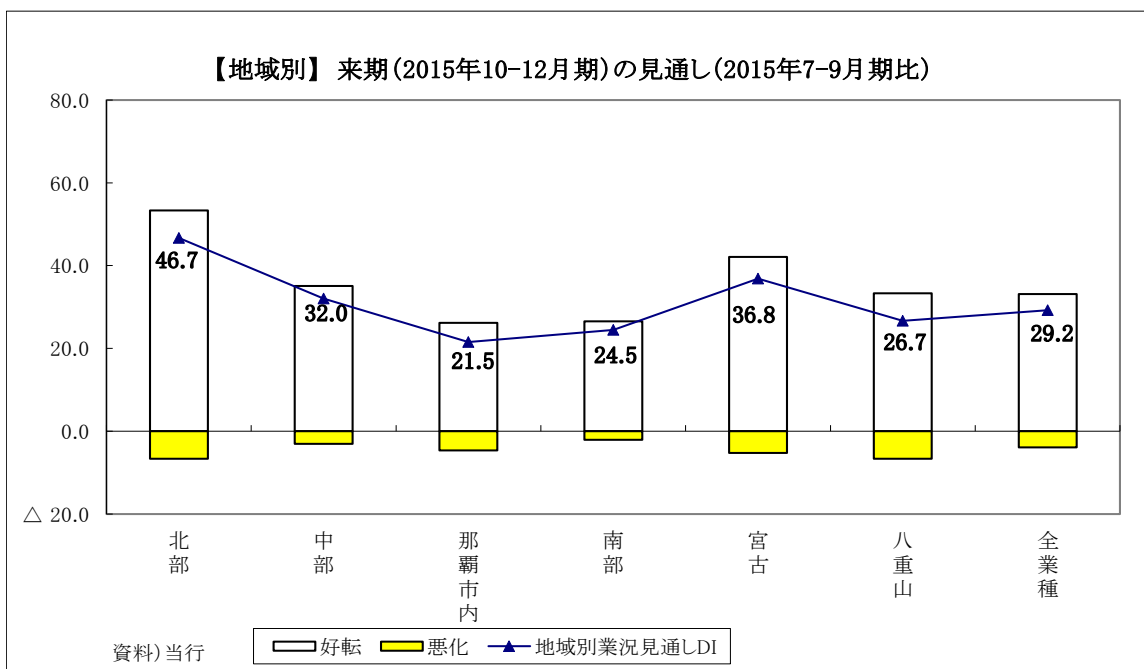
1. 当期の状況(2015年7-9月期の前年同期比)

地域別業況DIは、観光客需要の増加や公共工事の受注増加がみられる八重山地区(80.0)をはじめ、各地域において、観光関連(宿泊・小売・運輸業等)や建設関連(土木・建築業等)が好調に推移していることなどから、全ての地域で業況改善の動きとなりました。



2. 来期の見通し(2015年10-12月期の2015年7-9月期比)

地域別業況見通しDIは、引き続き、全ての地域で業況改善の動きが期待されます。公共工事の受注増加が見込まれる北部地区(46.7)や伊良部大橋開通効果などが見込まれる宮古地区(36.8)をはじめ、各地域において、修学旅行シーズンや年末商戦などの需要が見込まれ、業況が好調に推移することが予想されます。



IV.まとめ

【当期の業況DI】

- ① 当期（2015年7-9月期）の業況DIは**38.9**ポイント（前年同期比）となり、業況改善の動きとなりました。
- ② **観光関連（飲食・宿泊・運輸業など）**では、入域観光客数が好調に推移（7月＝9.2%増、8月＝8.8%増：いずれも前年同月比）していることなどから、売上高・採算・引き合いが増加しており、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ③ **建設関連（土木・建築・測量・設計など）**では、公共（那覇空港関連・基地内工事）・民間（病院・ホテル・アパート・個人住宅など）工事の受注増加がみられ、業況は改善しています。一部では職人不足（型枠・工事部門）による人件費高騰などにより、採算の悪化を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ④ **小売業（観光土産品・ガソリン販売・ガス販売など）**では、夏場の国内外観光客の増加、レンタカー利用の増加、原油価格下落の影響などから、売上高・採算・引き合いが増加しています。一部では円安による仕入単価の上昇から採算の悪化を懸念する事業者や近隣への大型商業施設開店により業況が悪化している事業者などもみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。
- ⑤ **卸売業（食品、土産品、家電、水産、タバコ、生活雑貨など）**では、国内外観光客の増加や大型商業施設への販路拡大などにより、売上高・引き合いが増加しています。また、石油・ガス卸売業では、原油価格下落により、仕入単価が減少しています。一部では円安の影響による仕入単価の上昇などから、採算の悪化を懸念する事業者もみられますが、全体としては業況改善の動きがみられます。

【来期の見通し業況DI】

- ① 来期（2015年10-12月期）の見通し業況DIは**29.2**ポイント（2015年7-9月期比）となり、引き続き、業況改善が期待されます。
- ② **観光関連**では、観光需要の堅調な推移や新規出店計画が見込まれるなど、売上高・採算・設備投資が増加することが期待されており、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ③ **建設関連**では、継続的な公共・民間工事の受注増加が期待されています。一部では恒常的な人手不足を懸念する事業者もみられるものの、工程管理を厳格に行ない、経費削減に取り組む事業者もみられるなど、全体としては業況改善の動きが見込まれます。
- ④ **小売業**では、一部では観光のトップシーズン終了による需要の落ち込みなどから売上高・採算・引き合いの低下が予想されるものの、観光需要の堅調な推移や新規出店、事業拡充などを見込む事業者がみられることなどから、全体としては業況改善の動きが見込まれます。